

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成23年11月7日
【四半期会計期間】	第50期第1四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社アクシーズ
【英訳名】	XYZ Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々倉 豊
【本店の所在の場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【最寄りの連絡場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第1四半期連結 累計期間	第50期 第1四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成23年 6月30日
売上高(千円)	3,571,887	3,802,575	14,595,858
経常利益(千円)	71,881	242,504	720,538
四半期(当期)純利益(千円)	45,044	153,678	423,550
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	44,534	149,620	436,004
純資産額(千円)	5,412,646	5,883,536	5,804,117
総資産額(千円)	8,144,502	8,478,956	8,382,935
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	8.02	27.36	75.42
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	66.5	69.4	69.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第49期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による直接的な被害に加え、原発事故に伴う電力供給懸念等により厳しい状況ではありますが、復旧に伴い持ち直しの動きが見られつつありました。一方、米国の景気減退や欧州の財政不安による円高の進行等、景気の先行きは依然として不透明なまま推移いたしました。

このような状況下で、当社グループは更なる経営体質強化に向け、主力である鶏肉関連事業において、飼料製造、種鶏飼育、雛生産、ブロイラー飼育及び鶏肉生産加工までの一貫体制の中で、効率的な事業運営に努めてまいりました。今後も当社インテグレーションの優位性を最大限に利用し生産性を高め、業績向上に努めてまいります。また、外食事業につきましてもキャンペーンが好調であったこと等から堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は38億2百万円（前年同四半期比6.5%増）と増収となり、営業利益2億25百万円（同504.8%増）、経常利益2億42百万円（同237.4%増）となり、四半期純利益は1億53百万円（同241.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 鶏肉関連

当社グループの柱である当該事業のブロイラー増産により、当社製品「薩摩ハーブ悠然どり」の販売数量が伸びたことを主因に、売上高は29億68百万円（前年同四半期比6.5%増）増収となり、セグメント利益は1億58百万円と増益になりました。

#### 外食

KFC店舗のキャンペーンが好調であったことに加え、積極的なポスティングが功を奏したことからPH店舗の売上も堅調に推移し、利益率の改善につながりました。さらに、当第1四半期連結累計期間では兵庫県に1店舗（ケンタッキーフライドチキン）を新規出店いたしました。

以上の結果、売上高は8億34百万円（前年同四半期比6.3%増）、セグメント利益は66百万円（同52.4%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ96百万円増加し、84億78百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品が98百万円、受取手形及び売掛金が57百万円増加したものの、有形固定資産が55百万円減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ16百万円増加し、25億95百万円となりました。これは主に賞与引当金が1億24百万円増加したものの、未払金が77百万円、未払法人税等が31百万円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ79百万円増加し、58億83百万円となりました。これは主に利益剰余金が83百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、24百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,350,000
計	19,350,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,617,500	5,617,500	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 (100株)
計	5,617,500	5,617,500	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	5,617,500	-	452,370	-	428,340

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,615,800	56,158	-
単元未満株式	普通株式 300	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,617,500	-	-
総株主の議決権	-	56,158	-

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アクシーズ	鹿児島市草牟田二丁目1番8号	1,400	-	1,400	0.02
計	-	1,400	-	1,400	0.02

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,199,464	1,185,481
受取手形及び売掛金	1,050,333	1,107,565
製品	162,788	203,472
仕掛品	234,128	229,789
原材料及び貯蔵品	557,545	656,210
その他	310,008	354,828
貸倒引当金	431	564
流動資産合計	3,513,837	3,736,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	396,747	381,330
工具、器具及び備品(純額)	506,069	478,990
土地	2,763,632	2,764,632
その他(純額)	49,529	35,878
有形固定資産合計	3,715,979	3,660,832
無形固定資産	54,155	51,824
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,104,034	1,033,874
貸倒引当金	5,070	4,358
投資その他の資産合計	1,098,964	1,029,515
固定資産合計	4,869,098	4,742,172
資産合計	8,382,935	8,478,956
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	364,810	405,109
1年内返済予定の長期借入金	91,000	81,000
未払金	869,119	791,534
未払法人税等	165,868	133,963
賞与引当金	-	124,551
その他	78,071	93,036
流動負債合計	1,568,869	1,629,194
固定負債		
社債	499,800	499,800
長期借入金	24,250	9,000
退職給付引当金	187,640	180,736
役員退職慰労引当金	96,349	99,061
その他	201,908	177,627
固定負債合計	1,009,949	966,225
負債合計	2,578,818	2,595,419



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	4,885,168	4,968,646
自己株式	1,087	1,087
株主資本合計	5,764,791	5,848,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,325	35,267
その他の包括利益累計額合計	39,325	35,267
純資産合計	5,804,117	5,883,536
負債純資産合計	8,382,935	8,478,956

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,571,887	3,802,575
売上原価	2,504,181	2,554,796
売上総利益	1,067,705	1,247,778
販売費及び一般管理費	1,030,434	1,022,348
営業利益	37,271	225,430
営業外収益		
受取利息	1,654	852
持分法による投資利益	32,503	25,596
その他	6,353	8,149
営業外収益合計	40,512	34,599
営業外費用		
支払利息	2,688	2,254
為替差損	2,760	14,259
その他	453	1,012
営業外費用合計	5,902	17,525
経常利益	71,881	242,504
特別利益		
収用補償金	92,108	-
特別利益合計	92,108	-
特別損失		
固定資産除却損	42	407
固定資産圧縮損	85,936	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,346	-
特別損失合計	107,325	407
税金等調整前四半期純利益	56,665	242,096
法人税、住民税及び事業税	63,129	134,001
法人税等調整額	51,508	45,583
法人税等合計	11,620	88,417
少数株主損益調整前四半期純利益	45,044	153,678
四半期純利益	45,044	153,678

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	45,044	153,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,554	4,058
繰延ヘッジ損益	5,044	-
その他の包括利益合計	510	4,058
四半期包括利益	44,534	149,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,534	149,620

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
減価償却費	81,323千円	66,718千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年9月22日 定時株主総会	普通株式	70,201	12.50	平成22年6月30日	平成22年9月24日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,786,631	785,255	3,571,887	-	3,571,887
セグメント間の内部売上高又は振替高	127	-	127	127	-
計	2,786,759	785,255	3,572,014	127	3,571,887
セグメント利益又はセグメント 損失( )	7,063	43,429	36,366	905	37,271

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額905千円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,968,080	834,494	3,802,575	-	3,802,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	89	-	89	89	-
計	2,968,170	834,494	3,802,664	89	3,802,575
セグメント利益	158,432	66,202	224,635	795	225,430

- (注) 1. セグメント利益の調整額795千円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円02銭	27円36銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	45,044	153,678
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	45,044	153,678
普通株式の期中平均株式数(株)	5,616,060	5,616,060

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月1日

株式会社アクシーズ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの平成23年7月1日から平成24年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。